



村山鋼材・浦安工場

コイルセンター大手の村山鋼材（本社・東京都大田区、社長・村山和雄氏）は22日に浦安工場で、近隣の千葉県立浦安高校1年生（約260人）の校外学習を受け入れた。

浦安工場では毎年、地域社会貢献活動の一環で浦安鉄鋼団地周辺にある小学校の社会科見学に協力しているが、高校生の

地元高校生が見学

受け入れは今回が初めて。構内は見学通路用の回廊が設置してあり、安全を確保。しかも加工設備やコイル置場、製品出荷状況などが上方から把握できるので分かりやすい。同社では「身近な先輩の活躍ぶりをみたり、見学を通じて鉄に触れたりする中で一人でも多くの若者が鉄鋼や鉄鋼団地に関心をもってもらえれば」と期待を込める。

受け入れは今回が初めて。構内は見学通路用の回廊が設置してあり、安全を確保。しかも加工設備やコイル置場、製品出荷状況などが上方から把握

ので分かりやすい。同社では「身近な先輩の活躍ぶりをみたり、見学を通じて鉄に触れたりする中で一人でも多くの若者が鉄鋼や鉄鋼団地に関心をもってもらえれば」と期待を込める。

受け入れは今回が初めて。構内は見学通路用の回廊が設置してあり、安全を確保。しかも加工設備やコイル置場、製品出荷状況などが上方から把握